



陽光

令和6年5月9日 第3号 文責 梶原 圭一



入学式から1ヶ月が過ぎて・・・

令和6年度がスタートして、1ヶ月が経ちました。授業や給食中の子どもたちの様子を見て回っていますが、新しい生活にずいぶん慣れてきたように感じます。最初は緊張気味だった1年生も、先生や友だちと笑顔で話している姿を見ることができ、日々成長していることが感じられます。

「1年生を迎える会」では、それぞれの学年が趣向を凝らして作成したメッセージビデオをみんなで視聴しました。学校生活の楽しさを伝える学年や安全な遊び方を伝える学年など、工夫された映像ばかりでした。映像を見る1年生の表情に注目していましたが、一人ひとりのうれしそうな笑顔が印象的でした。1年生は、小学校生活で頑張りたいことを堂々と発表してくれ、頼もしさを感じました。

校内に目を向けると、2年生が1年生と一緒に学校探検をする様子が見られます。「ここは校長室です。校長先生がお仕事をなさるところです。お客さんが来られるので、ソファがあります。」というように、1年生に分かりやすく、2年生が工夫して説明してくれています。一緒に校内を回っている様子が何とも微笑ましく、その様子を見ている方がうれしくなってきました。

それぞれの学年に応じて、子どもたちがどのような成長を見せてくれるのか、今から楽しみです。



これこそ伝統の力

子どもたちの授業の様子などを見ながら校舎を回っていると、これまで菊陽中部小の子どもたち、そして先生方で大切に守られてきた伝統とも言うべきものを感じるときがあります。その一つに、自分の靴を揃える取組があります。どの子の靴箱も、縁の部分にかかとをきちんと揃えて入れられています。高学年の靴箱だけでなく、中学年や低学年でも同じ様子が見られます。自分の持ち物を大切にすることは、心を整えて学びに向かう上で大切なことです。その大切な行動を「揃える」「続ける」ということは、容易なことではありません。この学校に関わってきた方々の思いが伝わってきます。

また、職員室に入ってくる子どもたちから、「先生方、こんにちは」という声が聞かれます。これも素晴らしい伝統だと感じます。その他にも、低学年の子どもたちのことを考えながら声をかけたり、無言で黙々と掃除に取り組んだりしている高学年の姿を見ると、伝統の力を感じます。この中部小が「みんなの学校」であるために、みんなが守り、育んできた伝統を、これからも子どもたちとともに考え、大切にしていきたいと思えます。

<今後の主な予定>

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 5月25日(土) | 運動会 | 6月12日(水) | 交通安全教室 |
| 5月27日(月) | 給食なし(弁当持参) | 6月18日(火) | 第1回学校運営協議会 |

【お知らせ】 5月25日(土)に運動会を予定していますが、当日が雨天で開催できない場合は、25日(土)午前中授業、26日(日)開催、27日(月)振替休業日と計画しています。26日も雨天の場合は、追って連絡いたします。